



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月9日

上場会社名 三洋工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 菊地 政義

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小宮山 幹生

TEL 03-3685-3451

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	4,999	16.7	△178	—	△152	—	△139	—
23年3月期第1四半期	4,283	△14.5	△539	—	△522	—	△556	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △157百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △598百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△4.02	—
23年3月期第1四半期	△15.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	20,078	9,795	47.5	273.89
23年3月期	22,139	10,024	44.1	280.16

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 9,537百万円 23年3月期 9,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,000	14.9	△550	—	△500	—	△550	—	△15.79
通期	28,500	5.1	350	—	400	—	200	—	5.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料)3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	35,200,000 株	23年3月期	35,200,000 株
24年3月期1Q	378,799 株	23年3月期	377,828 株
24年3月期1Q	34,821,815 株	23年3月期1Q	34,824,875 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成24年3月期の配当予想については、今後の業績が不透明であるため、現時点では未定としております。年度業績等を勘案した上、配当予想額の開示が可能になった時点で速やかに開示を行います。

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年4月～平成23年6月）におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による甚大な被害によって、サプライチェーンが寸断されたほか原発事故に伴う電力不足が顕在化するなど、被災地域のみならず国内の経済活動に深刻な影響を及ぼすこととなり、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの関連する建築業界におきましては、公共投資が依然として低調であることに加え、震災の影響で民間設備投資も計画の見合わせや先送りの動きが一部に生じるなど、建築需要は総じて低水準にあり、デフレの長期化も相まって、非常に厳しい経営環境にありました。

このような状況の中で当社グループは、経営体質改善のための「経営改善計画」に基づき、確実に収益を確保できる体制づくりを目指し、営業拠点体制の見直しや要員の再配置を着実に推し進めると共に、人件費など固定費の削減と徹底した原価低減に取り組んでまいりました。また、販売面におきましては、耐震および環境関連製品の拡販と重点商品の販売強化に注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,999百万円（前年同期4,283百万円）、営業損失178百万円（前年同期営業損失539百万円）、経常損失152百万円（前年同期経常損失522百万円）、四半期純損失139百万円（前年同期四半期純損失556百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、戸建住宅向けの製品が住宅ローン減税や金利優遇などの政策支援を下支えに、ハウスメーカーからの引合いが増え、売上高は好調に推移しました。また、主力製品であるビルやマンション向けの製品につきましても、売上高に改善が見られ、軽量壁天井下地全体の売上高は前年同期を大きく上回る結果となりました。

床システムにつきましては、オフィス用の置敷式OAFフロアの売上高が堅調に推移しましたが、主力製品であるマンション用の遮音二重床製品やスポーツ施設用の鋼製床下地材製品の売上が振るわず、床システム全体の売上高はわずかに減少となりました。

アルミ建材につきましては、今回の震災によって、耐震関連製品であるエキスパンション・ジョイントカバーの受注量が増大したほか、非居住用物件の着工に多少回復の動きが見られたことから、アルミ建材全体の売上高は大幅な増加となりました。

この結果、売上高は4,247百万円（前年同期3,564百万円）、セグメント損失は140百万円（前年同期セグメント損失424百万円）となりました。

② システム子会社

当社の子会社であるシステム会社（株式会社三洋工業九州システムほか）におきましては、床システムを中心に活発な設計指定活動を展開したことによって、床関連製品の売上高は、前年同期並みに推移し、売上高は768百万円（前年同期751百万円）、セグメント損失は54百万円（前年同期セグメント損失120百万円）となりました。

③ スワン商事

当社の子会社でアルミ建材を製造、販売するスワン商事株式会社におきましては、主力製品であるシャッター製品の売上高が増加しましたが、全体的な押し上げ効果には至らず、売上高は120百万円（前年同期97百万円）、セグメント損失は4百万円（前年同期セグメント損失19百万円）となりました。

④ その他

その他につきましては、売上高52百万円（前年同期47百万円）、セグメント利益は0百万円（前年同期セグメント損失1百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、主に売上高の減少により受取手形及び売掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ2,060百万円減少し、20,078百万円となりました。

負債につきましては、売上原価の減少により支払手形及び買掛金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ1,832百万円減少し、10,282百万円となりました。

純資産は、当第1四半期連結累計期間が四半期純損失となったことにより、前連結会計年度末に比べ228百万円減少し、純資産合計は9,795百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成23年5月13日発表の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,219	2,324
受取手形及び売掛金	10,952	8,221
有価証券	468	469
商品及び製品	1,640	2,039
仕掛品	90	91
原材料及び貯蔵品	767	958
繰延税金資産	27	47
その他	41	53
貸倒引当金	△156	△123
流動資産合計	16,052	14,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,879	1,849
機械装置及び運搬具（純額）	626	586
土地	2,389	2,389
その他（純額）	111	103
有形固定資産合計	5,006	4,929
無形固定資産	32	32
投資その他の資産		
投資有価証券	322	310
繰延税金資産	5	5
その他	1,003	975
貸倒引当金	△284	△258
投資その他の資産合計	1,047	1,033
固定資産合計	6,086	5,995
資産合計	22,139	20,078

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成23年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,853	6,282
短期借入金	966	983
未払法人税等	121	16
賞与引当金	105	33
役員賞与引当金	12	3
災害損失引当金	70	65
その他	627	563
流動負債合計	9,756	7,947
固定負債		
社債	600	600
長期借入金	9	4
繰延税金負債	5	2
退職給付引当金	1,339	1,323
その他	403	404
固定負債合計	2,357	2,335
負債合計	12,114	10,282
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	6,931	6,721
自己株式	△106	△106
株主資本合計	9,753	9,544
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	△6
その他の包括利益累計額合計	1	△6
少数株主持分	268	258
純資産合計	10,024	9,795
負債純資産合計	22,139	20,078

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	4,283	4,999
売上原価	3,340	3,831
売上総利益	942	1,167
販売費及び一般管理費	1,482	1,346
営業損失 (△)	△539	△178
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	3	4
受取賃貸料	25	24
作業くず売却益	3	3
その他	10	9
営業外収益合計	46	45
営業外費用		
支払利息	5	3
不動産賃貸費用	10	15
休業手当	11	—
その他	2	0
営業外費用合計	29	18
経常損失 (△)	△522	△152
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	6	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57	—
特別損失合計	63	0
税金等調整前四半期純損失 (△)	△586	△152
法人税等	△11	△4
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△575	△148
少数株主損失 (△)	△19	△8
四半期純損失 (△)	△556	△139

四半期連結包括利益計算書

第 1 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△575	△148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△8
その他の包括利益合計	△23	△8
四半期包括利益	△598	△157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△579	△148
少数株主に係る四半期包括利益	△19	△8

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。